

コンビネーション338号

読みの能力で勝負する

函館チェスサークル・インターネット通信

2016年11月11日 発行



チェス・オリンピック開会式の日本男女チーム

自慢できる負けゲームがある

結果がすべて。それは当然と認めたいので、あえて反論します。結果がすべてじゃないと知っている者だけが本物のチェスを知っている！

今回とりあげたゲーム、結果だけを見ると単純です。山田弘平は地元の少年マスターに挑戦し、猛攻を浴び、わずか28手でKOされました。

しかし、なぜそのゲームを??

事前の作戦の妙、お互い連発の好手、剣先一寸の差で決まった勝負、誰も気づかなかった奇跡のドロウ…。

本物のチェスを知らない者には見えない壮絶な読み合いの勝負を伝えたいのです。敗者の弁なんかではありません。むしろ「こんなすごいチェスを指したことありますか?」という自慢にさえ思えてくるでしょう。

チェスには恥ずかしくない、自慢できる負けゲームがあるのです。

(以下 山田弘平のレポート)

チェス・オリンピック参加レポート(4)



アゼルバイジャンにて

男女ともにマスター位獲得をねらう

今年の日本チームには、男女ともにマスター位獲得をねらうプレイヤーがたくさんいました。

まず獲得を決めたのは女子チームの5番ボード、福谷なつみさんです。7ラウンドまでに5試合出場した彼女は3.5P/5という好成績でWoman Candidate Master (WCM)の称号を獲得しました。オリンピックでは、7試合出場して勝率50% (3.5ポイント)を達成すると、Candidate Masterの称号を得ることができます。このため、福谷さんは2試合出場すれば成績に関わらず称号獲得ということになります。

また、9試合出場して勝率65%を達成した場合、FIDE Master (FM)を獲得できます。この後、後半8ラウンドを終えた時点で、マスター位獲得のチャンスがあったのは、次の4人でした。

- ・Averbukh Alex : 残り3試合出て全勝でFM獲得
- ・山田弘平 : 残り3試合出て2ポイントでFM獲得
- ・星野華怜 : 残り3試合出て2ポイントでWFM獲得
- ・坂井あづみ : 1P/1、1.5P/2、2P/3いずれかでWCM獲得
- ・福谷なつみ : 残り1試合出てWCM。3試合出て1.5ポイントでWFM獲得

FM獲得チャンスのあるプレイヤーがこれだけ多いのは珍しく、観戦していた人たちの中でもかなり盛り上がっていたようです。特に今年の子供チームは、全員が準備

にかなりの時間をかけていたので、それが結果に出ているように感じました。

8 ラウンドのザンビア戦を引き分けたため、9 ラウンドで日本は格下のサウジアラビアと当たりました。相手の戦力を分析した後、実力差がかなりあることがわかったので、我々はここまでトップボードで安定したプレーを続けてきた小島を温存することに決めました。

これにより、2 番ボードで Alex が白を持てるため、FM 獲得チャンスの継続を狙う意味もあります。このラウンド、3 番ボードで指していた自分が、最も相手とレーティングが近かったのですが、序盤から衝撃の一手が飛び出し、開始からわずか 30 分で勝勢になってしまい、そのまま押し切り、勝ちました。その時の様子は小島ブログに書かれています。

<http://shinyakojima-blog.blogspot.jp/2016/09/baku-chess-olympiad-r9-saudi-arabia.html>

しかし、Alex がまさかの敗北を喫してしまったため、彼の FM 獲得チャンスはここでなくなりました。

十分勝てるという自信

今回ご紹介するのは、その次の 10 ラウンド、開催国であるアゼルバイジャンとの対戦です。通常、オリンピック

は国から男女 1 チームずつが参加しますが、開催国には 1 軍、2 軍、3 軍の 3 チームの出場が許されています。日本チームが当たったのは 3 軍、全員が 16 歳以下の若手チームでした。

若手チームとはいえ、U16 オリンピアドの代表メンバーであり、強豪国アゼルバイジャンの中でも特に有望視されたよりすぐりの選手が揃っています。全員が FM でしたが、試合を見る限りはどのボードも GM、IM クラスの実力者揃いでした。

さて、男子チームでは FM 獲得のチャンスが残っているのが自分だけになったため、Misha の意向もあり、残り 2 ラウンドは白を持たせてもらうことが決まっていました。そこでこのラウンドは、Alex を下げ、唐堂を出しました。これで白番である 3 番ボードが、自分の担当になります。チェスは白の方が先に指すため勝ちやすく、連続で白番ならば残り 2 試合で 1 ポイントというのは、さほど難しい条件ではないはずでした。2 回チャンスがあるため、引き分け 2 回でも獲得できるのはとても大きい

ことです。

ですが、そこはオリンピック。強い相手に、プレッシャーのかかる中で、引き分け狙いというのは逆に危険です。そこで、自分はこの試合で決めるつもりで、前日の夜から相手の試合を見て、自分の研究を見直し、周知な準備をしてこのラウンドに臨みました。

試合の直前、会場に向かうころには十分勝てるという自信を持っていました。この試合で決める、でなければ FM 獲得は難しいと考えていたのです。

白 : ガディンベリ (Gadimbayli, Abdulla)

黒 : 山田弘平

2016 年バクー, アゼルバイジャン 10R

1. d4 d5 2. c4 c6 3. Nf3 Nf6 4. Nc3 dxc4 5. a4 Bf5 6. Ne5 e6 7. f3 Bb4 8. Nxc4 0-0 (図 1)

図 1 白番 途中図



黒の Gadimbayli (ガディンベリ) は 2002 年生まれの 14 歳。2010 年の World Youth の U8 部門 (8 歳未満) で優勝し、FM タイトルを獲得しています。14 歳以下の世界ランキングも 20 位台と将来有望な若手プレーヤーです。雰囲気も昔の Anish に少し似ていました。(笑)

試合は彼の得意戦法である Slav Defense (スラブ・ディフェンス) に進みます。引き分けを狙いに行くならば 8. e4! という選択肢もあったのですが (興味のある人は、この後どうなるか調べてみてください)、勝ちにこうと考えていた自分は、この定跡に対して秘策を用意していました。

9. Kf2!?

知らないとき非常に奇妙な一手に見えるかもしれませんが、白のプランは、f3-e4 とポーンを突くことで、黒の強力な白マスビショップを封じ込める作戦です。

では、9. e4 はどうなるでしょうか。

この手は、9... Nxe4! 10. fxe4 Qh4+ 11. Kd2 Qxe4 と、ピースを捨ててくる危険な攻めを、黒に許してしまうこととなります。仮に互角だったとしても、この展開は白のキングが流れ弾に当たりやすく、実戦的には黒が十分以上の形勢といえるでしょう。Kf2 は b4 のビショップの利きを避けるのと同時に、似たような展開になったときに g1 に逃げ込む手を作っています。

9...c5 10. e4

黒はこの形の経験があまりなかったようで、序盤から長考を繰り返してきます。一方自分の方は、ここまで前日の研究どおりでした。

この局面では、黒に有力な手がいくつかありますが、メインラインは 10... Bxc3 11. bxc3 Bxe4! とビショップを切ってくる手です。以下、12. fxe4 Nxe4+ 13. Kg1 Nxc3 14. Qe1! cxd4 15. Ba3 と難しい展開になります。黒はルークを逃げるのが難しいため、次の手でルークを取れば、RB(8点)対 NPPPP(7点)というあまり見られないような駒割になります。もっとも、次の手で1手かけてルークを取る手が良い手かどうかは難しいですし、黒のセンターのポーンは強力です。

自分の FM 獲得プランは、このような展開で駒得し、黒が無理やり攻めにきたところを受けきって勝つというプランでした。難易度は高いですが、確実にこういう展開になるとわかっていたら準備もできますし、何より若いプレーヤーと読みの能力で勝負ができるのは、楽しいなことでもありました。

黒はしばらく考えて、この挑発に乗るか考えていましたが、あきらめてビショップを引きます。

10...Bg6 11. Na2 Nc6 12. Nxb4 Nxb4

ビショップを引く手は落ち着いた手に見えますが、正直なところ指されるとは思っていませんでした。局面がゆっくりした展開になり、白がキング周りのピースを展開しきってしまえば、白マスビショップを抑え込んでいる白が指しやすくなると考えていたからです。

しかし、黒の狙いは全く別なところにありました。

13. Be3 ? (図2)

図2 黒番 次の1手は？



指しているときは当然こうだと思って指しましたが、今見ると d4 でポーン交換する権利を黒に与え、やや危険な一手でした。13. Qb3! と d4 交換を間接的に防いでおくのが良かったようです。

13...cxd4 14. Bxd4 Nxe4+!?

これが黒の真の狙いで、ワンテンポ遅らせてのピースサクリファイスです。しかも、彼が選択したのは先にナイトを切ってくる手でした。



2015 世界ユース・チャンピオン、ガディンベリー

白キングの前のポーンがなくなってしまい怖いところですが、実をいうと自分は感覚的にありがたいと感じていました。これならばもとの、駒得して勝つというプランになりますし、残った e4 のビショップがそれほど強力には見えなかったからです。

自分が恐れていたのは、14... Bxe4! の方で、15. fxe4 Nxe4 16. Kg1 となり、このタイミングで技をかけられることでした。試合中はお互いに気がつかなかったのですが後で調べたところ、この瞬間に 16... Nc2! と飛び込む絶妙の一手があり、黒が良い局面でした。これが 13. Be3 を良くないとした理由です。

15. fxe4 Qh4+ 16. Kg1 Rfd8 (図3)

図3 白番 次の1手は?



黒は白のキングを g1 まで追いやり、ルークを展開してきます。この攻めは見た目以上に強力で、次に Nc6 と指されるとピースを取り返されてしまいます。

こういったピンの状態を解消する手筋の一つは、先手で間の駒を避けることですが、17. Bf2? Rxd1 18. Bxh4 Rxa1 と、a1 のルークを手順に取られてしまうため上手くいきません。かといって、17. Ra3? で次の Bf2 を狙っても 17... Qxe4 と先に逃げられながら d4 にプレッシャーをかけられてゲームオーバーです。

次の白の手はほぼ絶対の一手です。

17. Qb3!

浮いたナイトに当てながら、ピンになっているクイーンを逃げます。黒はビショップを取る一手に見えますが、Gadimbayli は惜しげもなく時間を投入し、なかなか指してきません。恐るべき 14 歳の少年は、ここから驚異的な構想力を見せてきます。

17... Rxd4 18. Qxb4 Bxe4 (図4)

図4 白番 次の1手は?



当然のように指されたこの手が黒のワナです。

先手を取りながらクイーン交換 (Qg3) を狙う 19. Qc3 が自然な手に見えますが、19... Bxg2!! という返し技があります。取るしかありませんが、20. Kxg2 は 20... Rg4、20. Bxg2 には 20... Rxc4 となり、白のディフェンスは崩壊します。この局面ではもっとダイレクトな受けが必要です。

19. Qe1!

この手を発見して手応えを感じました。Bxg2 には先に Qxh4 と取れるため、黒の狙いを回避しています。黒はクイーンを逃げるために一手使わなければなりません。

19... Qh5 20. b3

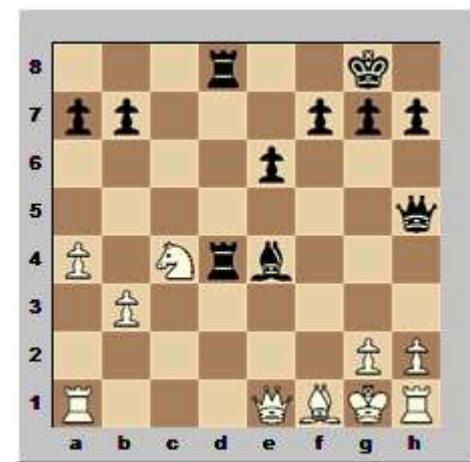
もらった一手でナイトを守ります。

黒はピースを切っていますが、取り返したのは 2 ポーン。後は攻めが切れれば白が良くなり、プランどおりに勝てると思いました。

自分の状況とは対症的に、チームの状況はかなり悪く、特に小島、南條は中盤でかなり押し込まれているように見えました。大会終盤でのストレート負けは痛いですから、自分としてもなんとか負けだけは回避する必要があります。

20... Rad8 (図5)

図5 白番 次の1手は?



単にルークをつなげただけのように見えて、この手もまたいやな狙いを秘めています。

h1 のルークを出動しようと 21. h4? とやると、またしても 21... Bxg2!! が飛んできます。キングで取れないのは先程と同じですが、22. Bxg2 に今度は 22... Rd1 のクイーン取りがあります。g2 を受ける 21. Qg3?! には 21... Qc5! があるので、受けの候補は①21. h3 か②21. Qf2 のどちらかだと思いました。

①は g4 のマスを受けながら Kh2 を作る一手で、例えば 21... Qc5 には 22. Kh2 と上がり、黒マスからのチェックを Qg3 で防ぐことができます。

②はとりあえず g2 と Qc5 を両方受ける手で、ここまでやってから h4-Rh3 とルークを使いにいこうというプランです。

自分は、ここはさえしのげば勝ると踏んで、10分以上考えました。正解は①と②のどちらでしょう？

21. h3 ?

非常に難しい選択でしたが、結果から言えばこの手は間違いでした。試合中は当然いい手だと思って選びました。キングの逃げ道を作るのはもちろん、g4 を抑えているという点が大事で、Rg4 さえ消しておけば、Bxg2 とは切って来ないと考えていたのです。

正解は②の 21. Qf2! で、これがアドバンテージを保つほとんど唯一の受けでした。しばらく受けに回る事になりますが、黒には決定的な手段がなく、h4-Rh3 が間に合いさえすれば、白が有利になります。

黒はここでまたしても大長考に沈みます。20分近く考えて指された次の一手は、ショッキングな一手でした。

21... Bxg2!! (図6)

ずっと狙いの一手であったとはいえ、この手は彼の才能を証明しているでしょう。

図6 黒番 途中図



g2 は取り返す一手ですが、ビショップでは取り返せません。22. Bxg2? Rd1 23. Rxd1 Rxd1 24. Kh2 Rxe1 25. Rxe1 b6 の展開は、すぐに負ける手がないとはいえ、白にとってかなり苦しい局面です。黒は b3 のポーンさえ取ってしまえば簡単に勝ちになりますが、白がクイーンのチェックを防ぎながらポーンを守るのはかなり難しいでしょう。

よって 22. Kxg2 と、キングで取り返すしかありません。そこで 22... Qg5+! が好手。

22. Kxg2 Qg5+! (図7)

図7 白番 次の1手は？



23. Kf2 とよけると 23... Rf4+ 24. Ke2 Qh5+! で詰んでしまうため、白の応手は①23. Kh2 と②23. Qg3 の2通りです。

h3 と突いたときには、①23. Kh2 で受かると思っていたのですが、23... Rd2+! (23... Qf4? では 24. Qg3 があるため、続きません) 24. Nxd2 Rxd2 25. Be2 に対して、25... Qe3 があります。チェックでビショップとクイーンが両方取られてしまうため、白の大きな駒損です。

この変化で負けになると気がついたときには、負けを覚悟しました。しかし、どこで間違えたのかわからなかったので、試合中はただ驚くばかりでした。

(図7から)

23. Qg3 Rd2+! 24. Nxd2 Rxd2+ 25. Kf3 Qd5+ 26. Ke3 Qd4+ 27. Kf3 Qc3+! 28. Kg4 h5+ 0-1

実戦は②の 23. Qg3 を選びましたが、それでも無理やり 23... Rd2+ が好手。最後は取れるルークを取らずに 27. Qc3+ としてクイーンを引き抜きます。28. h5+ でクイーンが取られてしまったため、リザインしました。チームも全員が負けてしまい、この終盤で痛いストレート負けを喫しました。

しかし、不思議と悔しい気持ちは起こりませんでした。相手にたった1手読み負けたのは残念ですが、自分が大丈夫と読んだ手を掘り下げて、踏み込んできて勝った若きマスターをみて、まだまだ自分が目指すべき上の世界があるということを再認識したのです。

次に彼を見るときには更に強くなっているでしょう

が、自分もそのときには今よりも強くなっていなければ、と決意を新たにしました。

ところで白の決定的な敗着はなんだったのでしょうか？

自分も相手も試合中には気づいていなかったことがありました。敗着は 22... Qg5+ (図 7) に対する 23. Qg3? だったのです。正しくは 23. Kh2!! で、以下 23... Rd2+ に対して、突っ込んできたこのルークを取らずに 24. Be2! が好手でした。(参考図)

ポイントは、c4 のナイトがまだ生き残っていることで、このナイトがクイーンのための重要な侵入経路である e3 のマスカバーしています。

参考図 白 24. Be2! まで



この事実が気がついていれば、黒は捨てたピースを取り返す方法がないので参考図から 24... Qf4+ 25. Kg1 Qd4+ (ここで 25... Qe3+ ができない!) 26. Kh2 Qf4+ 27. Kg1 とパーペチュアルチェック (連続チェック) によるドロウで満足せざるを得なかったでしょう。まさに、チェスは最後の最後までわからなかったのです!

これで、FM 獲得のためには、最終戦を勝利する以外になくなりました。ちなみにこの日は女子もストレート負けを喫していたため、タイトル獲得チャンスのあるプレイヤーは全員、最終戦を勝利する条件となってしまいました。その最後の相手はメキシコでした。GM Hernandez Guerrero が率いる南米の強豪国です。今回はおそらくベストメンバーではなかったと思いますし、何らかの事情で初戦を不戦敗していましたが、それでも GM、IM2 人、FM2 人と強力なチーム構成となっていました。日本チームにとって、そして自分にとって、このオリンピック最後の挑戦です。

(文: CM山田弘平 文中敬称略)

次回はいよいよレポート最終回です

♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️

18日保護者懇談会

♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️

次週 11月18日(金)は保護者懇談会です。

ご参加の方、よろしくお願いします。役割分担もありますが、文章ではお伝えできないこと、情報交換、それが実は懇談会をもつ大きな意義だと感じています。

♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️

盤駒とクロックは常に持たせてください

♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️

お願いがあります。そのときは必要でなかったとしても盤駒とクロックは常に持たせてください。自分の道具を持ち運び、使用することはそれなりに意味があると思っています。

また、7時半から開始できるようにご集合ください。

♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️

チェス教室の運営について

♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️♟️

保護者のみなさんには、誰もが忙しい金曜日の夜を1時間半もけずり、お子様の送り迎えとお当番をされていることに感謝いたします。

チェスを「遊び」にしか見ない日本の環境の中でご理解、ご協力いただいていることにあらためて敬意と感謝を申し上げます。

今回、みなさんに甘える形で2日間の大会を企画しました。実は、それが正しかったのかどうか...。また、毎週の教室の運営についてもみなさんがどう思われているのか...。正直思い悩みました。みなさんの貴重な土日をうばうことになったからです。

幸い講師に昇格された金城康弘さんや、将棋界で大人気の金澤健一さんにもお手伝いしていただけるようになりました。これが大きな希望となっています。

今後もチェスを学んでいる生徒全員が成長できるよう教室にするためがんばりたいと思います。これからもご支援をお願いします。

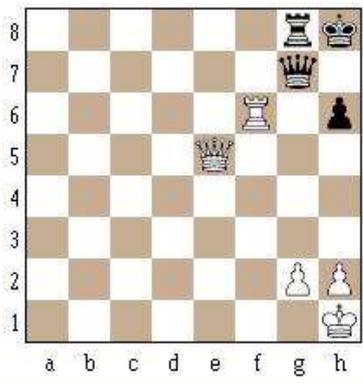
♟♟♟♟♟♟♟♟♟♟♟♟♟♟♟♟♟♟♟♟♟♟♟♟

ピンは強力なワザ (宿題)

♟♟♟♟♟♟♟♟♟♟♟♟♟♟♟♟♟♟♟♟♟♟♟♟

タクティクスは戦術と訳します。将棋でいうと手筋に当たる言葉で、単に駒を取った取られたということだけでなく、ワザを使って相手の駒を取ったり、メイトしたりする技術をタクティクスといいます。前はディスカバード・アタックを学びました。今回はピンを学びましょう。

例題 白番 次の1手は?



黒が何をねらっているかわかりますか? うっかりしていると次に $1... Qxg2$ とメイト、黒の勝ちです。白はどうしたらよいでしょう。

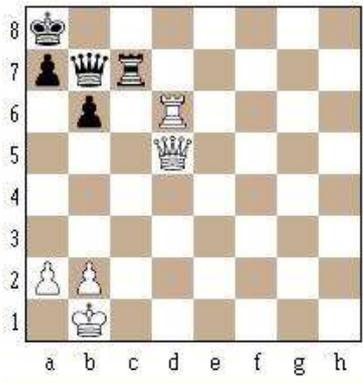
こんなときに守る手を先に考えてはいけません!

黒のねらいが見えてもあわてずに!

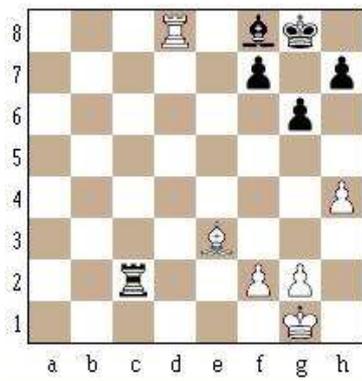
さいわい白のクイーンが黒のキングにねらいをつけています。 $1.Rxh6!$ はどうでしょうか。白のルークでチェックなので黒はクイーンを取っているヒマがありません。

かといって、 $1... Qxh6$ と、そのルークを取ることはできません。白クイーンにキングが取られてしまいますから。これを黒のクイーンはピンされているといいます。ピンは釘付け(くぎづけ)という意味で、強力なワザです。

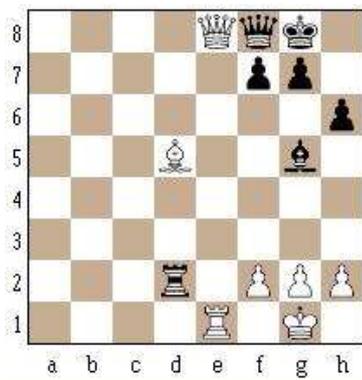
第1問 白番 レベル1



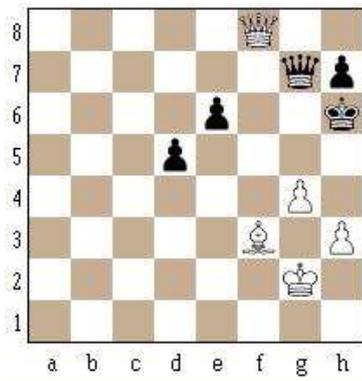
第2問 白番 レベル1



第3問 白番 レベル1



第4問 白番 レベル2



ぜひこの4問の答えを考えて、その手を棋譜で書いてみてください。それが宿題です。まちがった答えでも全然いいですから、自分で考えた手を書いてきてください。ダメなのは何も考えないことです!

(名前)